



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485



済生会

わかやま

NEWS

第21号

発行日: 2012.01

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

～ 理 念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、
患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員員の指示に従う責務があります。

— Information —



新年にあたり昨年のことを振り返ってみたいと思います。明治44年、明治天皇が下賜された済生勅語に始まる恩賜財団済生会が設立されてから100周年を向かえました。昨年2011年5月30日に東京にある明治神宮において、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ記念式典が開催され、天皇陛下より全国の済生会病院職員全員に感謝と励ましの言葉を賜りました。この時、私は無料または低額をもって恵まれない人々に施薬救療を行い済生の道を広めるという済生会病院の原点をあらためてかみしめるとともに次の100年に向けての始まりを感じて参りました。

また昨年は未曾有の3.11東日本大震災がありました。当院も医療班を立ち上げ、2班を岩手県に派遣し被災者の支援を行ってまいりました。

さて私ども済生会和歌山病院は、平成16年に日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver4.0を受審しました。当時は移転後1年の新病院での改革はまだまだ整備途上といったところで、結果は6個の要望項目と2個の留意事項を指摘されました。しかし、当時としては早期の電子カルテの導入や入院患者の指示指示受の電子化など一定の評価を受けたことや、数ある指摘事項を改善していった事が認められ、受審後1年8ヶ月を経てやっと認定されました。また昨年2011年は病院機能評価認定の更新時期に当たり、昨年5月にさらに高度なVer6.0を受審しました。結果は、前回と違って3ヶ月後には合格通知をいただき、職員みんなの苦労が報われた思いです。すなわち当院は病院機能評価認定病院として、地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃努力している病院として認められたということです。このことは当院職員の喜びと励みになり、よりいっそう地域の中で常に求められる病院であることを目指して、職員全員でがんばってまいりました。その結果、当院への外来受診や入院希望の患者さんが年々増加しており、職員はやりがいを感じています。また、私自身いろいろな場所で済生会和歌山病院の職員はみんな優しいということをよく聞きます。これは当院の看護師を初め職員全員が「看護の心」を持っているからだとは考えています。「看護の心をみんなの心に」という標語がありますが、私は「看護の心」を当院の職員全員が常に持ち続けてほしいと思っています。

当院の理念は、「私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。」を掲げています。今年も、安全で質の高い医療を効率的に提供する、つまり安全安心さらに満足の医療を目指していきたいと考えています。

本年もよろしくお願い申し上げます。

院 長 松崎 交作

病院機能評価Ver. 6を受審して

済生会和歌山病院 病院機能評価委員会 仲 寛

謹賀新年。本年もどうか宜しくお願い申し上げます。

昨年は、未曾有の大震災に驚愕し、また災害とは無縁と思われた紀南地域での豪雨災害など、これまでの常識を超えた異常気象や地球環境の変化を目の当たりにし、あらためて震災・災害に対する備えの大切さを我々一人一人に至るまで認識させられました。被災地域の日も早い復興を、初日の出に祈念申し上げます。

さて、当院は日本医療機能評価機構の医療機能評価Ver.6を受審し、関門を通過させていただきました。当院の医療体制や方向性は間違っていないという評価をいただきました。少しでも医療の質を改善しようという全職員の取り組みの結果であるのは勿論のこと、患者さんを紹介していただく登録医の先生方や市の救急隊の皆さまのご尽力の賜物でもあることも肝に銘じています。

当院は現在16診療科200床の病院ですが、近隣には高度救急救命センターを備えた800床以上の和医大と日赤があり、地域支援病院の300床の労災病院もあります。このような当院よりはるかに規模の大きな病院に囲まれながらも、私たちは急性期医療を展開しています。地域の先生方が主催する和歌山東臨床研究会と当院主催の登録医総会などでの定期的症例検討会や講演会、意見交換会などを頼りに、敷居の低いface to faceの密な医療連携を行っています。また、地域住民に親しまれやすいように、市民参加型の糖尿病教室、肝臓病教室、および市民公開講座や無料健康相談会などを定期的に関き、地域住民にとって分かり易い医療を常に心がけています。

これらを遂行する上での当院の基本方針は、『急性期医療を中心に、機能と特性を明確にする』であります。近畿では屈指の股関節手術や症例数の多い消化器疾患や肝臓病の治療に重点を置き、また、チーム医療の典型ともいえる『頭のとっぺんから足の先まで血管の病気を治療する』糖尿病治療、循環器疾患、脳卒中、足の血管の病気、腎臓病などの診療が当院の特徴でもあります。風通しのよい院内連携にてスムーズに行われるよう尽力しています。また、『患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する』を基本方針の2番目に掲げています。安全安心でしかも質の高い医療を提供するには、全職員が一丸となったチーム医療が必要不可欠であると全職員が認識し、『チーム医療はどうあるべきか』自問自答しながら日々の医療安全に尽力しています。全職種が一同に会する院内発表会でその取り組みを評価・検討しています。また、人材育成を主眼においた人事考課制度を導入し、一人一人のやる気を吸い上げて新たなチーム力に発展させ、病院の方針が全職員に浸透した形で効率よく合理的に推進されるシステム作りに奮闘しています。これが安全安心の医療につながるという認識を全職員が理解できるように、しつこく気長に取り組んでいます。以上の基本的な姿勢が審査され評価されたわけです。

ごく当たり前の事を気負いなく行い、今後も引き続き再認定に挑戦することで『私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院を目指します。』という目標に少しでも近づけるものと思っています。

今後も引き続きご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



<胃瘻について>

消化器内科 山原 邦浩

胃瘻とは人為的に皮膚と胃に作成した瘻孔のことを言い、多くの場合はそこにチューブを留置し栄養注入のルートとして使用しています。その胃瘻を造設する手技のことを胃瘻造設術といい、外科的胃瘻造設術、経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG<ペグ>）があります。最近ではPEGという言葉が一般化しており、胃瘻チューブのことをPEGと呼ぶことも少なくありません。当院ではそのほとんどが消化器内科で造設していますが、昨年1年間では約50件程度の新規胃瘻造設を行いました。ただ胃切除後であったり、胃の前面に横行結腸ガスが覆いかぶさってくるような症例では内視鏡での胃瘻造設は困難になることもあり、外科的胃瘻造設を行って頂くこともあります。当科では胃瘻造設前にほぼ全例腹部CTを撮影し、胃の前面に横行結腸や肝臓が存在していないかどうかの確認を行います。横行結腸がある場合は術前に十分な排便コントロールを行い胃瘻造設します。また造設時には透視下にて結腸ガスがないことを確認し、安全に胃瘻造設が行えるように工夫しています。胃瘻チューブはボタン型を使用し、以前はプル法でしたが最近ではダイレクト法にて造設しており、実際の手技時間は約30分程度とさほど早くはありませんが安全に造設することを心がけています。またクリニカルパスも使用し1週間程度で退院して頂いています。交換は半年毎で行っており、当院でも対応させて頂いています。適応のある患者様がありましたら、御紹介よろしくお願い致します。



クリニック三木 三木 保史 先生

皆様、明けましておめでとございます。医療法人 三光会クリニック三木の三木保史です。紀ノ川の北で紀の国大橋の粟で降りた所にあります。主に整形外科を中心に外科、リハビリテーション科で開業させて頂いております。また、介護施設としてディサービスかはやきくらぶ、あんだんて、居宅支援事業所きらり、ケアステーションひかり、訪問リハビリテーション、適合高齢者専用賃貸住宅やすらぎの郷メゾン・ド・シンフォニーを開設し日々地域医療・介護に携わって16年になりました。その間済生会和歌山病院様には整形外科疾患・外科疾患・脳外科疾患・内科疾患等何かとお世話になりまして誠にありがとうございます。地域連携病院としてなくてはならないものと考えております。私は、昭和53年に卒業し、整形外科、麻酔科、外科を研修し当時の消化器外科に入局し済生会有田病院に勤務その後、昭和59年から日赤整形外科、平成6年から中江病院勤務し、平成8年に開業しました。現在訪問診療も他科疾患も見ることがあり、今後とも、医療・介護にわたりご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成24年1月1日現在)

区分	月	火	水	木	金
内科 消化器内科 糖尿病・代謝内科 循環器内科	山原 邦浩		山原 邦浩	—	川口 雅功
	文野 真樹	梶野 裕之	川口 雅功	合田 杏佑	文野 真樹
	巽 邦浩	江川 公浩	荒古 道子	江川 公浩	荒古 道子
	片岩 秀朗	大鹿 裕之	片岩 秀朗	辻岡 洋人	大鹿 裕之
	—	辻岡 洋人	—	—	—
脳神経外科	山家 弘雄	仲 寛	山家 弘雄	仲 寛	林 靖二
	三木潤一郎	—	—	三木潤一郎	—
	—	—	藪下 哲成	—	—
外科/心臓血管外科	—	高垣 有作	戸口 佳代	—	岩橋 正尋
	重里 政信	川嶋 秀治	重里 政信	岩橋 正尋	中村 恭子
	戸口 佳代	自己血	川嶋 秀治	自己血	—
	—	—	橋本沙代子	—	古江 隼人
整形外科	築瀬 能三	自己血		松崎 交作	
	西 秀人	船岡 信彦	新・患診	山崎 悟	築瀬 能三
	中谷 匡登	山崎 悟		中谷 匡登	西 秀人
リハビリテーション科	中川 真里	西田 秀樹	西田 秀樹	中川 真里	—
耳鼻咽喉科	—	—	医大応援医師	—	—
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—
眼科	金 桂洙	宮本 武	—	高田 幸尚	中田 元子
皮膚科	上中智香子	—	—	山本 有紀	—
泌尿器科	—	—	佐々木有見子	—	児玉 芳孝

※内科（糖尿病・代謝） 江川公浩／荒古道子／巽 邦浩
（肝／消化器） 川口雅功／文野真樹／山原邦浩
／合田杏佑／梶野裕之
（循環器） 大鹿裕之／片岩秀朗／辻岡洋人

*土曜日は休診です。

*腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。

*月曜日午後1時から予約制で禁煙外来を行っています。

*眼科は水曜日休診となっておりますので、ご注意ください。

*当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は紹介状をお持ちの方にもお待ち頂くことがございますのでご了承ください。

【受付時間】 午前（全科） 8時30分～11時00分
(但し、予約患者さまは除く)

診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時45分～午前11時（但し、予約患者様はこの限りにあらず）

休診日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187